

第1学年○組 学級活動(1)指導案

令和元年○月○日(○) 第○校時

授業者 ○○ ○○

男子○名 女子○名 合計 ○名

1 議題「もっとなかよくなるうのかいをしよう」

ア 学級や学校における生活づくりへの参画

2 議題について

(1) 児童の実態

5月の学級活動の時間に「学級活動オリエンテーション」を行った。活動内容(1)は「学級会が楽しくなるような名前を決めよう」「1学期頑張ろうの会をしよう」について話し合った。学級会では児童の話合いを見守り、活動の様子をできる限り記録するようにしてきた。1年生の初期段階なので、教師が話合いを進めてきた。2学期から、教師が話合いの司会をする中で、児童も司会グループを立てて話合いを行うようにした。司会グループの児童が、学級会の準備を教師と一緒にいたり、クラス全体で学級会の準備をしたりできるようになってきた。

学級会は自分たちが話し合って決めて自分たちで実践する時間であることを確認すると共に、今後も、自分たちで決めることができたという達成感を感じることができるようしていきたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、子ども達が「なかよし」の意味を考えながら、学級目標の1つである「なかよくするこ」を目指している中で、児童の中から、もっとなかよくなれるような集会所したいという提案が出て、「1学期よりもみんなのよいところをもっと知って、仲よくなれるような会がしたい」という思いから本議題が選定された。現在の子供達は、友達の意見を受け入れたり、提案理由を意識して意見を言ったりすることはまだまだ難しい。話合いの中で、学級全体に助言を行うことで、適切な集団決定ができるよう方向付けているところである。集団決定の経験を積ませることで、自分たちが自分たちの生活をよりよくしているという実感を持てるようにしたい。

また、事前に「なかよし」とはどういう姿かアンケートをとり、『ふわふわことばをいえる』『えがおであそぶ』など、児童にとっての「なかよし」の具体的なイメージをクラス全員で共通理解できるようにする。共有できた「なかよし」のイメージを可視化することで、集団決定をする拠り所となるようにしたい。柱1で仲よくなるための工夫を考える際は、「どんな場面で」、「誰と」、「どのように」仲よくなるのかを明確にすることで、仲よくなる姿が具体的にイメージできるようにしたい。出てきた意見を短い言葉で素早く短冊にまとめることは、司会グループの児童にとってはまだ難しい。短冊にまとめる、整理して短冊を黒板に並べるなどの役割を担当が行うことで、わかりやすく話合いを進めることができるようにしたい。本議題は「もっとなかよくなる」ことがキーワードになる。提案理由を意識した発言が見られた際は、終末の教師の話などで称賛することで価値付けを行っていききたい。

3 研究主題との関わり

【研究主題】 「互いによく聴き よりよく考え 自分の思いを表現できる児童の育成」
～ 特別活動を基盤とした学力向上 ～

【目指す児童像】

○ 自ら学び、考え、主体的に判断・行動し、自分たちで諸問題を見出し、解決できる児童。
○ 多様な他者と折り合いをつけ、それぞれの役割を果たしながら、協力して豊かな学校生活を創造することができる児童。

【研究の視点並びに具体的な手立て】

(1) 生活上の課題を見出し、多様な意見を生かして合意形成を図り、他者と協働しながら学級や学校生活の向上を図る学級活動の展開。

＜互いによく聴く＞

①必要感のある議題を選定…学級生活アンケートをもとにして、児童のよりよい学級・学校生活づくりにおいて、必要な課題が見出せるようにする。
②関連発言の重視と意見の種類…単発の発言ではなく、関わりやつながりを重視した話合いが展開できるようにする。

＜よりよく考え＞

③「決まっていること」の明確化…話合いを焦点化するとともに、よりよい合意形成を図ることができるようにする。
④少数意見の生かし方…少人数の意見も大切にし、多くの意見を生かし合えるようにすることで支持的な風土を醸成する。
⑤反対意見の明示…反対意見を短冊で示すことで、その意見の解決に向けた話合いを深められるようにする。
⑥実践までを見通した話合い…準備や当日までの予定を示し、見通しをもった話合いができるようにする。

＜自分の思いを表現＞

⑦3つの段階に分けた話合い…話合いを焦点化し、児童が分かりやすく思考・判断・表現することができるようにする。
⑧ふり返し活動までを重視…ふり返しカードを用いて、自らの頑張りや仲間の頑張り、学び得たことについてふり返し、活動の記録を蓄積する。

本時では、①、⑤、⑦に重点を置き、指導を展開する。

4 評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話合い活動や実践活動を通した思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話合いの進め方に沿った意見の発表や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団生活に取り組もうとしている。

5 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
○月○日 昼休み	・ 議題を選定する。	・ 選定した議題について全員に知らせ承認を得る。	◎ よりよい学級生活づくりのために、進んで議題の選定をしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【観察】 ◎ もっとなかよくなるうのかいを開くために友達と協力して話し合うことの意義を理解している。 (知識・技能) 【活動計画・観察】
○月○日 30分休み	・ 計画委員と学級会ノートを作成する。	・ みんなが共通理解できる提案理由になるように提案者に助言する。	
○月○日 昼休み	・ 全員の学級会ノートに目を通す。	・ 話合いの見通しが持てるようにする。	
○月○日 30分休み	・ 役割の確認をする。	・ それぞれの役割で自分のめあてが言えるように指導する。	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
○月○日 帰りの会	・ 議題を決定する。	・ 計画委員会の提案を基に全員で決定する。	◎ よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【観察】 ◎ もっとなかよくなるうのかいの目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。(思考・判断・表現) 【学級会ノート】
○月○日 朝の会	・ 学級会ノートに自分の考えを書く。	・ 決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。	
○月○日 朝の会	・ 教師からの言葉等が書かれた学級会ノートを受け取る。	・ 学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・ みんながもっと仲よくなれるような集会の計画を考えることができる。
- ・ 自分の意見を発表できるようにする。

(2) 児童の活動計画 (別紙)

7 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点) 【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員会の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 めあての確認 6 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> 自分のめあてが言えるように指導し、役割への意欲・自信を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もっとなかよくなるうのかいをしよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 提案理由の中で、特に大切なキーワードとなる言葉を図式化・構造化することで話合いの指針となるようにする。また、アンケート結果を活用することで話合いに必要感を持たせる。 決まっていることを確認し、児童全員が共通理解した上で話合いが行われるようにする。 	
<p>〈決まっていること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 ○月○日 (○) ○時間目 場所 1年○組教室 準備は○日の朝の活動 (15分) と 21日の学活の時間 (45分) 遊びは、なんでもバスケット 		
7 先生の話 8 話合い ①あそびのくふうをかんがえよう ②どんなやくわりがひつようか 9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話 12 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> 提案理由の意識付けを行うとともに、話合いの視点を確認する。 前回までの学級会で、よかったところや課題のあったところを踏まえて話し合えるようにする。 話合いは「くらべあう」の段階からはじめられるように、事前に短冊を壁面等に掲示しておき、意見の共通理解を図っておくようにする。 実際に行って、共通理解を深めるようにする。 できるだけ自分たちの力で解決できるように見守り、話合いの記録をとる。 司会グループがこまっているときや話の方向がずれたときは助言する。 学級会を振り返りインタビュー係を通して振り返りをする。 本時の活動の中で見られた具体的な姿を取り上げて称賛し、集会活動への意欲を高める。 計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けて見通しを確認する。 	◎意欲的に自分の意見を発表しようとしている。(主体的に取り組む態度)【発言・観察】 ◎提案理由に沿った意見を発言しようとしている。 (思考・判断・表) 【観察・発言・学級会ノート】

8 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
○月○日 朝の活動 ○月○日 学活	<ul style="list-style-type: none"> 各自活動計画を立てて準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動している児童、協力している児童等を称賛する。 決めたことを守り、進んで活動できるように見守る。 	◎ 他の児童と協力し、進んで集団活動に取り組もうとしている。 (主体的に取り組む態度)【観察】
○月○日 学活	<ul style="list-style-type: none"> 「もっとなかよくなるうのかいをしよう！」 実践終了後、振り返りをインタビュー係を通して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動全体を振り返り、自分のがんばりやよいところについても認められるように助言する。 	◎ もっとなかよくなるうのかいの目的を考え、めあてを意識しながら準備をしたり実践したりしている。(思考・判断・表現)【学級会ノート】